エコマークと
繊維製品の再審査手続きについて

2019年　7月5日（大阪）、7月11日（東京）

公益財団法人日本環境協会　エコマーク事務局

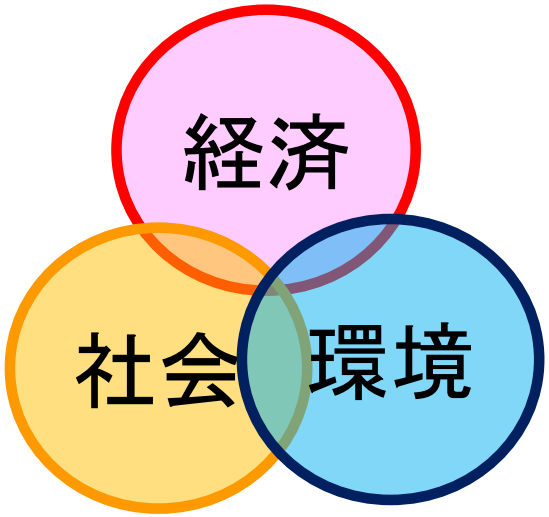
Copyright (C) Eco Mark Office. All Rights Reserved.

1. 繊維業界への社会的要請

Copyright (C) Eco Mark Office. All Rights Reserved.

繊維業界における最近の話題

**現在の事業経営では、「持続可能性」をキーワードとして、
環境問題に統合的に取り組んでいくことが社会的な要請になっている**



「持続可能性」の三つの次元

【最近の話題】

- ◆持続可能な開発目標(SDGs)
- ◆パリ協定(温室効果ガス削減目標の取り決め)
- ◆ESG投資(投資の際、環境・社会・ｶﾞﾊﾞﾅﾝｽ考慮)
- ◆海洋プラスチック汚染
  - →PETﾎﾞﾄﾙ等のﾌﾟﾗごみの不適正な廃棄が一要因
  - →リサイクルの必要性
- ◆人権/労働
  - →綿栽培の児童労働、
    バングラディシュの縫製工場での崩落事故
- ◆アパレル業界での大量廃棄

Copyright (C) Eco Mark Office. All Rights Reserved.

持続可能な開発目標（SDGs）

- 2015年に「国連持続可能な開発サミット」(193の国・地域)で決められた、国際社会共通の目標
- 2030年までの長期的な開発の指針として、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」を採択(その柱がSDGs)
- 持続可能な社会を実現するための17のゴール・169のターゲット
- 政府・自治体だけでなく、あらゆる民間企業や非政府組織の参画求める

Copyright (C) Eco Mark Office. All Rights Reserved.

SDGsに取り組むメリット

SDGs の活用によって広がる可能性

企業イメージの向上

SDGs への取組をアピールすることで、多くの人に「この会社は信用できる」、「この会社で働いてみたい」という印象を与え、より、**多様性に富んだ人材確保**にもつながるなど、企業にとってプラスの効果をもたらします。

社会の課題への対応

SDGs には社会が抱えている様々な課題が網羅されていて、今の社会が必要としていることが詰まっています。
これらの課題への対応は、**経営リスクの回避**とともに**社会への貢献**や**地域での信頼獲得**にもつながります。

生存戦略になる

取引先のニーズの変化や新興国の台頭など、企業の生存競争はますます激しくなっています。今後は、SDGs への対応がビジネスにおける**取引条件**になる可能性もあり、**持続可能な経営を行う戦略**として活用できます。

新たな事業機会の創出

取組をきっかけに、地域との連携、新しい取引先や事業パートナーの獲得、新たな事業の創出など、今までになかった**イノベーションやパートナーシップ**を生むことにつながります。

出典：環境省「持続可能な開発目標(SDGs)活用ガイド（概要版）

Copyright (C) Eco Mark Office. All Rights Reserved.

繊維製品と関わるSDGsの目標とターゲット(1)

目標3　あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

【ターゲット】

3.9　2030年までに、**有害化学物質**、並びに大気、水質及び土壌の汚染による死亡及び疾病の件数を大幅に減少させる。

目標6　すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する

【ターゲット】

6.3　2030年までに、汚染の減少、投棄の廃絶と**有害な化学物・物質の放出の最小化**、未処理の排水の割合半減及び再生利用と安全な再利用の世界的規模で大幅に増加させることにより、**水質を改善**する。

出典：http://www.ungcjn.org/sdgs/goals/goal03.html

Copyright (C) Eco Mark Office. All Rights Reserved.

繊維製品と関わるSDGsの目標とターゲット(2)

目標12　持続可能な消費と生産のパターンを確保する

【ターゲット】

12.2　2030年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。

12.4　2020年までに、合意された国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質や全ての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。

12.5　2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。

12.8　2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。

目標11　都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靭かつ持続可能にする

【ターゲット】

11.6　2030年までに、大気の質及び一般並びにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市の一人当たりの環境上の悪影響を軽減する。

Copyright (C) Eco Mark Office. All Rights Reserved.

2. エコマークの最新状況

Copyright (C) Eco Mark Office. All Rights Reserved.

エコマーク制度の目的

環境保全に役立つと認められる商品（製品およびサービス）に「エコマーク」を付けることで、
商品の環境的側面に関する情報を広く社会に提供し、
持続可能な社会の形成に向けて事業者・消費者の行動を誘導していく

⇒ 「持続可能」がキーワード

事業者と消費者をつなぐ
コミュニケーション
ツール

Copyright (C) Eco Mark Office. All Rights Reserved.

エコマーク制度の概要

- **国際的なISO規格**に基づいて日本環境協会が運営
  ⇒　日本で唯一のタイプI環境ラベル
- 商品分野ごとに**厳しい基準**を設けている
- 環境の専門家が集まって審査し、**合格したもの**だけに「エコマーク」をつけることができる
  ⇒　第三者認証、30年の歴史

市場規模
4.7
兆円

商品分野数
68

認定商品・施設数
52,227

認定企業数
1,458

Copyright (C) Eco Mark Office. All Rights Reserved.

公共調達で活用されるエコマーク

◆環境配慮型商品の選択の目安に広く 利用されており、入札等における販売機会の拡大が期待できます

地方自治体がグリーン購入に際して参考にしている環境ラベリング制度等

環境ラベル	%
エコマーク	96.6
グリーンマーク	86.8
再生紙使用マーク(Rマーク)	85.8
低排出ガス車認定制度	76.5
自動車の燃費性能の評価及び公表に関する実施要領	65.1
国際エネルギースタープログラム	38.8

出典：平成24年度地方公共団体のグリーン購入に関するアンケート調査（環境省）

〇調査対象：全国1,789地方公共団体　回収率：79.0%

〇調査時期：平成24年9月～11月

10
Copyright (C) Eco Mark Office. All Rights Reserved.

グリーン購入法とエコマーク

「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）」(2000年成立、2001年4月施行)

国等の公的機関が率先して環境物品等（環境負荷低減に資する製品・サービス）の調達を推進するとともに、環境物品等に関する適切な情報提供を促進する

特定調達品目：21分野276品目

- **エコマークの基準は、原則、グリーン購入法の判断の基準の上位基準となっています。**
- **調達時の基準適合の確認方法として、エコマークが利用されています。**

Copyright (C) Eco Mark Office. All Rights Reserved.

調達担当者によるエコマークの活用

環境省発行の「グリーン購入の調達者の手引き」（平成31年2月）では、参考となる環境ラベルとして、エコマークが紹介されています

グリーン購入の調達者の手引き

平成 31（2019）年 2 月

■15　制服・作業服等

参考となる環境ラベル等：

エコマーク	エコ・ユニフォームマーク	PET ボトルリサイクル推奨マーク
＊エコマーク認定品は、グリーン購入法に適合しています（条件あり）。	＊エコ・ユニフォームマーク貼付品は、グリーン購入法に適合しています。	＊上記マーク品は、再生 PET 配合率 25%以上の判断の基準を満たしています。

■特定調達品目及びその判断の基準

制服 作業服	【次のいずれかを満たすこと】 1. 再生 PET 樹脂配合率が 25%以上*(裏生地を除く)* ※ポリエステルが*裏生地を除く*繊維重量の 50%未満の場合、再生 PET 樹脂は繊維部分重量比 10%かつ、*裏生地を除く*ポリエステル繊維重量比 50%以上 2. 再生 PET 樹脂配合率が 10%以上かつ回収システムの保有 3. 故繊維から得られるポリエステル繊維が 10%以上 4. 植物を原料とする合成繊維が 25%以上、かつバイオベース合成ポリマー含有率 10%以上 5. 植物を原料とする合成繊維が 10%以上、かつバイオベース合成ポリマー含有率 4%以上かつ回収システムの保有
帽子	【次のいずれかを満たすこと】 1. 再生 PET 樹脂配合率が 25%以上 ※ポリエステルが繊維重量の 50%未満の場合、再生 PET 樹脂は繊維部分重量比 10%かつ、ポリエステル繊維重量比 50%以上 2. 再生 PET 樹脂配合率が 10%以上かつ回収システムの保有 3. 故繊維から得られるポリエステル繊維が 10%以上 4. 植物を原料とする合成繊維が 25%以上、かつバイオベース合成ポリマー含有率 10%以上 5. 植物を原料とする合成繊維が 10%以上、かつバイオベース合成ポリマー含有率 4%以上かつ回収システムの保有
靴	【次のいずれかを満たすこと】 1. 再生 PET 樹脂配合率が甲材繊維重量比 25%以上 ※甲部のポリエステルが繊維重量の 50%未満の場合、再生 PET 樹脂は繊維部分重量比 10%かつ、*甲材の*ポリエステル繊維重量比 50%以上 2. 故繊維から得られるポリエステル繊維が甲材繊維重量比 10%以上 3. 植物を原料とする合成繊維が甲材繊維重量比 25%以上、かつバイオベース合成ポリマー含有率 10%以上

■配慮事項

＜共通＞
- ○ 製品使用後に、回収・再使用・リサイクルされるためのシステムがあること。
- ○ 可能な限り未利用繊維、反毛繊維が使用されていること。
- ○ 簡易包装、再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷低減に配慮されていこと。

Copyright (C) Eco Mark Office. All Rights Reserved.

3. エコマーク「繊維製品」基準の再審査の概要とSDGsとの関わり

Copyright (C) Eco Mark Office. All Rights Reserved.

基準見直しの背景と変更内容

背景　現行基準の制定（2003年）から10年以上経過

→認定期間の長期化・社会状況の変化への対応の必要性

変更内容

■グリーン購入法との整合

■新たな評価対象の追加

繊維由来リサイクル繊維・植物由来合成繊維・羊毛・セルロース系化学繊維を対象に

■綿製品の要件の見直し

(製品中の綿の割合)

無漂白または酸素系漂白綿100%→70%、オーガニックコットン100%→30%でも可

使用可能な薬剤の見直し、エネルギー消費量削減の取り組み

■有害物質の追加と他規格との整合

禁止難燃剤にヘキサブロモシクロドデカンを追加

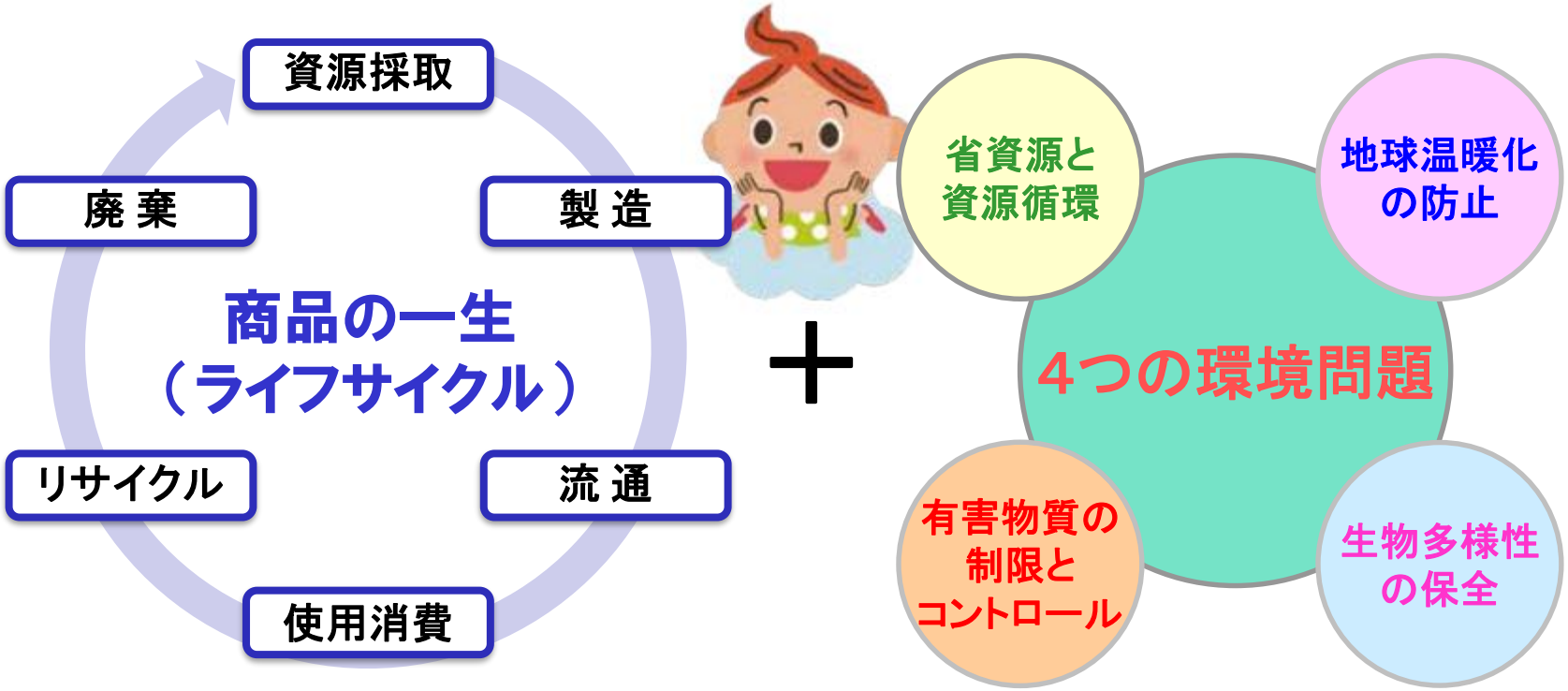
フッ素系撥水加工等の PFOS,PFOA規制、

禁止染料・顔料をOeko-Texと整合、プリント加工も対象に

Copyright (C) Eco Mark Office. All Rights Reserved.

エコマークの特徴

ライフサイクルを考えた基準を設定
総合的に環境負荷が少ない製品・サービスを認定



SDGsとの関連

環境負荷をトータルで考えた**基準は、SDGsに貢献**する内容になっている
今後は、環境面を中心に、社会面・経済面でのSDGsについても考慮

Copyright (C) Eco Mark Office. All Rights Reserved.

主要な認定基準とSDGs

主環境要件 →下記のいずれかを満たす

（1）**リサイクル繊維・未利用繊維**（使われずに廃棄される原料）の使用

（2）**植物由来合成繊維**の使用

（3）使用後に**回収、リサイクルまたは再使用**

（4）**無漂白または酸素系漂白の綿**の使用

オーガニックコットンの使用

有害物質に関する基準 →全商品対象

人体への安全性に疑義のある加工剤の使用制限

ホルムアルデヒド放散量の基準値設定

発がん性アミン類・発がん性染料・皮膚感作性染料の禁止

Copyright (C) Eco Mark Office. All Rights Reserved.

エコマーク取得によるSDGsへの貢献

（1）エコマークの認定基準に適合することで、SDGsの
ゴール12、3（一部は11、6も）に貢献しているといえる

使用後に
リサイクル・再使用

無漂白・
酸素系漂白の綿

（2）エコマークを活用し、人々に製品の環境性能を伝えることで、
SDGsのゴール12　ターゲット12.8にも貢献

目標12　持続可能な消費と生産のパターンを確保する

ターゲット12.8

2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。

Copyright (C) Eco Mark Office. All Rights Reserved.

再審査を受けることで

①貴社のガバナンスを高められます

・企業のコンプライアンスに関する外部からの目が厳しくなっています。最新基準で、第三者による認証を受けることで、貴社の環境配慮型商品を自信をもって販売できます

②社会的要請に応えられます

・SDGsへの貢献をアピールする際の根拠として活用できます

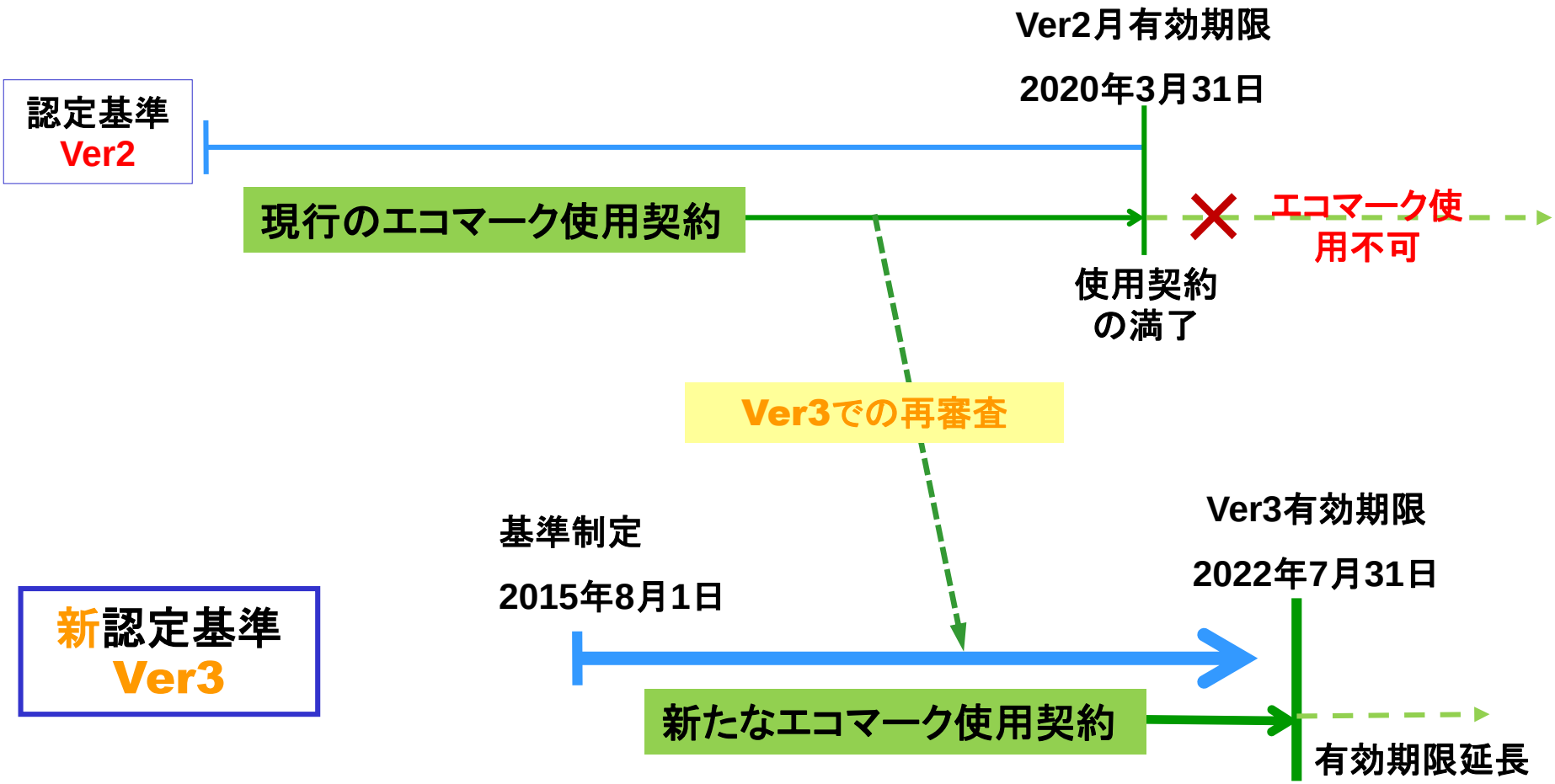
・海洋プラスチックごみ対策に貢献する商材として、信頼性のある商品を販売できます
(再生PET繊維)

Copyright (C) Eco Mark Office. All Rights Reserved.

4. 再審査の手続きについて

Copyright (C) Eco Mark Office. All Rights Reserved.

エコマーク使用契約の有効期限



継続を希望される既認定商品は、現行基準の有効期限（2020年3月31日）までに、再審査を完了してください

Copyright (C) Eco Mark Office. All Rights Reserved.

申込みから認定までの流れ

認定申請

認定審査料の振込、申請書類の提出
（月末締め）

↓

エコマーク事務局

・書類チェック→書類完備

↓

中立の専門家

審 査 委 員 会

・認定基準書に照らして審査
（申込み翌月第3週月曜）
（書類不備の場合、完備まで保留）

↓

認 定　　**不認定**

・認定結果通知書および認定証の発送
（審査委員会の1週間後）

Copyright (C) Eco Mark Office. All Rights Reserved.

エコマーク使用にかかる費用

① 認定審査料（1ブランドあたり）

20,000円（別途消費税）

再審査の申込にあたっての、審査料（1回限り）

② エコマーク使用料　（年間、1事業者あたり）

エコマーク認定商品の合計売上高区分			使用料（別途消費税）
	～	10万円以下	10,000円
10万円超	～	2,500万円以下	30,000円
2,500万円超	～	5,000万円以下	50,000円
5,000万円超	～	7,500万円以下	75,000円
7,500万円超	～	1億円以下	100,000円
1億円超	～	1億7,500万円以下	150,000円
1億7,500万円超	～	2億5,000万円以下	200,000円
2億5,000万円超	～	3億2,500万円以下	250,000円
3億2,500万円超	～	4億円以下	300,000円
4億円超	～	4億7,500万円以下	350,000円
4億7,500万円超	～	5億5,000万円以下	400,000円
5億5,000万円超	～	6億2,500万円以下	450,000円
6億2,500万円超	～	7億円以下	500,000円
7億円超	～	8億5,000万円以下	600,000円
8億5,000万円超	～	10億円以下	700,000円
10億円超	～	20億円以下	800,000円
20億円超	～	30億円以下	900,000円
30億円超	～	40億円以下	1,000,000円
40億円超	～	50億円以下	1,100,000円
50億円超	～	60億円以下	1,200,000円
60億円超	～	80億円以下	1,300,000円
80億円超	～	100億円以下	1,400,000円
100億円超	～	200億円以下	1,500,000円
200億円超	～	300億円以下	2,000,000円
300億円超	～	500億円以下	2,500,000円
500億円超	～		3,000,000円

これまでどおり、
毎年1回、基準日に
エコマーク商品の
売上高に応じて、
お支払いいただきます

Copyright (C) Eco Mark Office. All Rights Reserved.

エコマークの表示について

エコマーク表示は再審査後も、変更せずに表示が可能です。
（新認定番号が採番されますが、旧認定番号を引き続きご使用いただけます。）

2019年4月より、簡易な表示も可能となりました

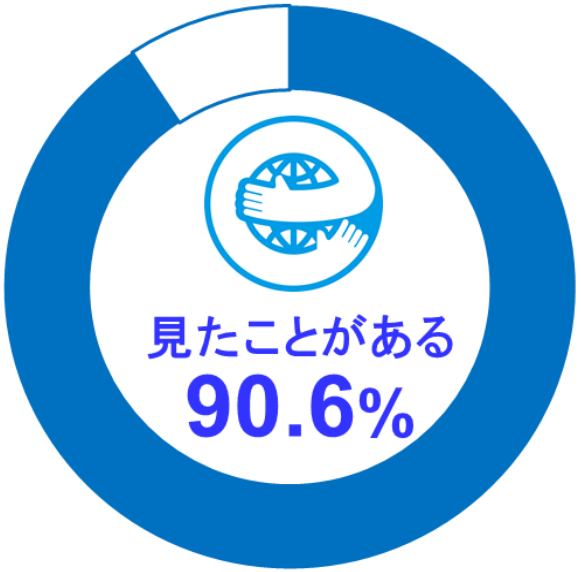
Copyright (C) Eco Mark Office. All Rights Reserved.

ご清聴
ありがとうございました

公益財団法人日本環境協会　エコマーク事務局
〒101-0032東京都千代田区岩本町1-10-5　TMMビル5F
電話： 03-5829-6284 FAX: 03-5829-6281
E-mail:info@ecomark.jp
https://www.ecomark.jp/

Copyright (C) Eco Mark Office. All Rights Reserved.

【参考】エコマーク取得メリット1(認知度の高さ)

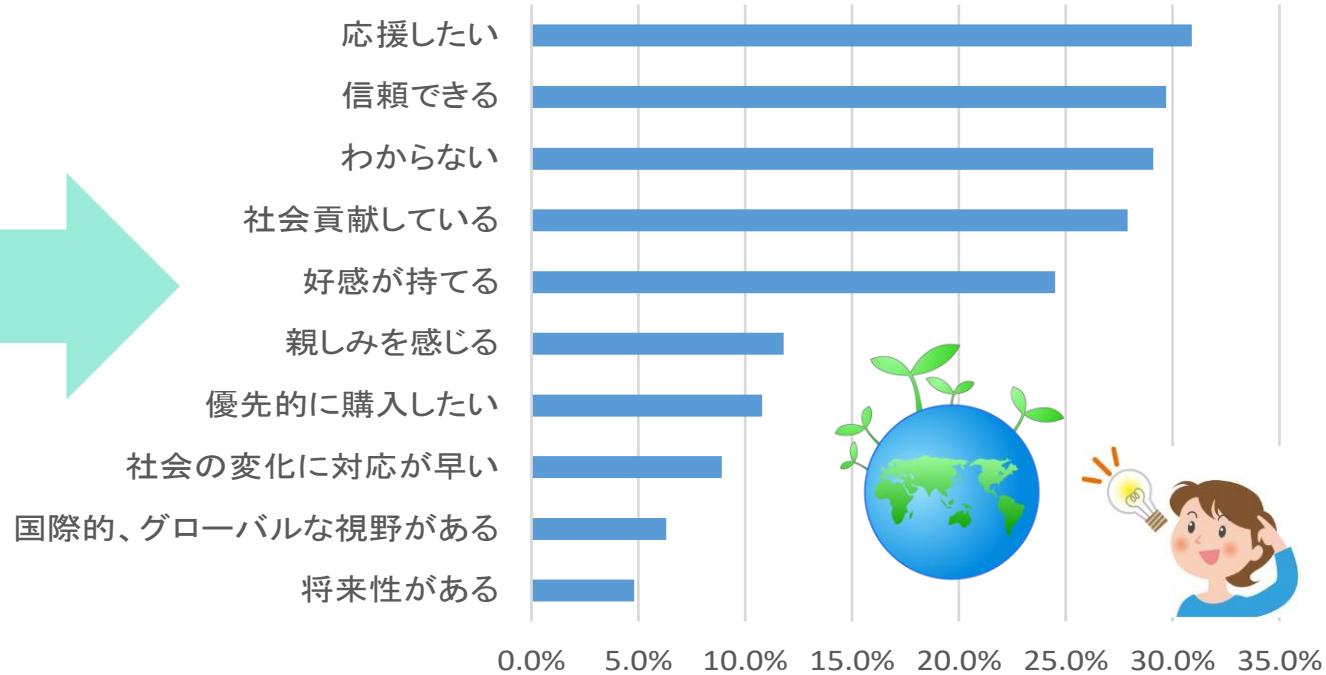


インターネット調査（平成27年3月）
対象者：全国の20歳以上70歳未満の男女5274人

- 全体の**約9割**がエコマークを「見たことがある」と回答
- 環境ラベルの中で最も高い水準であり、**老若男女問わず知っている**という強みを広報展開に生かすことができる。

Copyright (C) Eco Mark Office. All Rights Reserved.

【参考】エコマーク取得メリット2(わかりやすさ)



平成27年　エコマーク認知度調査より

- 「環境配慮」という難しいテーマを、「エコマーク」という象徴に変えることで、**わかりやすくアピール**できる。
- コミュニケーションを深めることで、今までになかった**「地域との連携」**、**「新しい取引先や事業パートナーの獲得」**、**「新たな事業の創出」**などを生むことにつながる。

Copyright (C) Eco Mark Office. All Rights Reserved.

【参考】エコマーク取得メリット3(信頼性の高さ)

- 信頼性の高い環境ラベル機関により「**資源採取から廃棄まで環境に配慮して製造された製品**」として認定されたことをアピールできる。
- 企業イメージの向上は、**多様性に富んだ人材確保**にもつながる。

Copyright (C) Eco Mark Office. All Rights Reserved.

【参考】エコマーク認定取得者の声

エコマーク認定を取得した事業者からは、
エコマーク認定取得の動機やメリットとして以下のような声が聞かれた。

- ✓ 特に官公庁においては、エコマーク認定商品に対して高い評価が得られる。
- ✓ さまざまな媒体、機会を通じて情報発信を行うことにより、環境配慮商品やエコマークに対する認識を深めてもらうと同時に、ブランドの価値が高まった。
- ✓ 環境特性をより効果的に発信できる。
- ✓ ISOはBtoBに有効だが、エコマークは親しみやすいので一般消費者にPRできる。
- ✓ エコマーク取得による企業としての信頼性・ブランド価値の向上が狙い
- ✓ 認定商品を活用して小学校や保育園などで環境教育を実施している。こうした取り組みの成果もあり、認定商品が企業、行政機関のほか全国の小学校に導入されている。

Copyright (C) Eco Mark Office. All Rights Reserved.